

令和 6 年 3 月 29 日

令和 6 年度アルミニウム研究助成事業 課題選考

アルミニウム研究助成事業 事務局

令和 6 年度のアルミニウム研究助成事業の研究課題を公募しましたところ、全国 21 大学、2 高専、1 公研から合計 28 テーマの応募があり、産学の選考委員による厳正なる審査の結果、下記課題の新規採択が本日の開催の理事会で承認されました。

なお、前年度からの継続研究課題 7 件を併せ、令和 6 年度の助成課題は 14 件となります。

1. 令和 6 年度新規採択課題

①高強度 Al 合金の腐食機構の解明と電気化学高耐食化処理法の確立

富山大学 先進アルミニウム国際研究センター

特命助教

真中 智世

②水素エネルギー社会におけるアルミニウムの需要拡大を目指した新規水素吸蔵放出技術と水素型電池の開発

芝浦工業大学 大学院理工学研究科 応用化学専攻

修士課程(博士課程進学)

福士 英里香

③縦型高速双ロールキャスト法により作製した Al 合金板材の表面模様と凝固組織の関係

群馬工業高等専門学校 機械工学科

講師

高山 雄介

④Al と半導体間の界面熱抵抗の測定と制御

宮崎大学大学院 農学工学総合研究科 物質・情報工学専攻

博士課程(助教就任)

原田 知季

⑤放射光を用いた高速 4D-CT による Al 合金の凝固過程における等軸晶の沈降・堆積の定量解析

京都大学 工学研究科 材料工学専攻

助教

鳴海 大翔

⑥Al との非平衡共晶反応を利用した新規非晶質材料創製プロセスの確立

東北大学 金属材料研究所 非平衡物質工学研究部門

助教

山田 類

⑦高温水蒸気を活用した熱処理技術開発に資する AlO(OH)皮膜形成に伴う溶質原子分配挙動の解明

芝浦工業大学大学院 理工学研究科 機能制御システム専攻

博士課程

栗原 健輔

2. 令和 5 年度からの継続課題

①優れた強度・耐久性を有するマルチマテリアル継手創製を実現するための迅速強度評価法の確立

神戸大学 大学院工学研究科 機械工学専攻

助教 小川 裕樹

②7000 系 Al 合金の不働態皮膜の力学的損傷に伴う腐食と水素侵入

(国研) 物質・材料研究機構 構造材料研究拠点 耐食材料グループ

独立研究者 土井 康太郎

③自己防食機能を備えた革新的金属組織を有する高強度 Al 合金の開発

東北大学 大学院工学研究科 知能デバイス材料学専攻 材料電子化学講座

博士課程

海老名 航

④バイオインスパイアード多孔質アンカーを介した Al/PA6 接合強度向上

名古屋大学 大学院工学研究科 物質プロセス工学専攻

特任助教

周 邵云

- ⑤Al-Si 合金 3D 積層造形における高速昇温溶融・急冷凝固過程のフェーズフィールド法による解明
大阪大学 大学院工学研究科 マテリアル生産科学専攻 マテリアル科学コース
料エネルギー理工学講座 助教 奥川 将行
- ⑥中性子回折と電気抵抗測定を用いたベークハードニングにおける転位組織回復と時効析出の
同時把握
東京電機大学 工学部 先端機械工学科 准教授 小貫 祐介
- ⑦高強度 Al-Cu-Mg 合金の延性向上に関する理論の検討
横浜国立大学 大学院理工学府 機械・材料・海洋系工学専攻 博士課程 馬 鵬程

以 上

参考：アルミニウム研究助成事業

1 課題につき初年度 50 万円、2 年度 30 万円の合計 80 万円を助成する。
令和 6 年度の助成総額は、560 万円となる。

初年度（新規）課題：7 件×50 万円＝350 万円

2 年度（継続）課題：7 件×30 万円＝210 万円

本件に関するお問い合わせ先

アルミニウム研究助成事業事務局 岩丸 電話 03-3538-0221 h-iwamaru@alkyo.jp